

3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

平成30年度の市町村等公営企業全体の決算規模は、1,070億82百万円で、前年度に比べ45億96百万円（▲4.1%）減少した。この主な要因は、宅地造成事業（法非適用）等の企業債償還金の減少に伴う資本的支出の減によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、法非適用下水道事業400億32百万円（全体の37.4%）、次いで上水道事業392億51百万円（同36.7%）であり、法適用下水道事業207億99百万円（同19.4%）、病院事業31億47百万円（同2.9%）、宅地造成事業23億00百万円（同2.1%）となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、過去のピークであった平成10年度（1,811億23百万円）の59.1%の水準まで低下し、平成30年度市町村等普通会計歳出決算規模8,267億20百万円（一部事務組合の決算額を含む）の13.0%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

（単位：百万円、%）

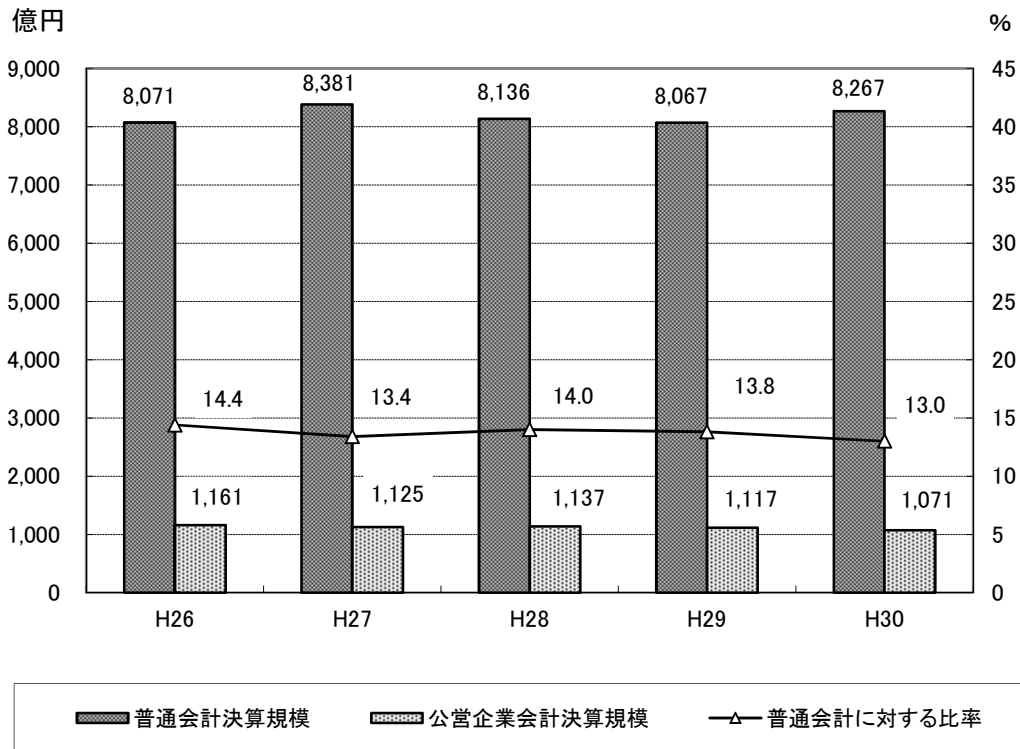
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(H26=100)				
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	
法適用	上水道	40,885	41,313	37,753	40,514	39,251	1.0	▲ 8.6	7.3	▲ 3.1	101	92	99	96
	工業用水道	180	168	144	177	169	▲ 7.0	▲ 14.3	23.1	▲ 4.3	93	80	98	94
	病院	3,965	3,854	3,874	3,830	3,147	▲ 2.8	0.5	▲ 1.1	▲ 17.8	97	98	97	79
	下水道	14,352	15,073	13,829	14,259	20,799	5.0	▲ 8.3	3.1	45.9	105	96	99	145
	市場	612	693	641	596	603	13.1	▲ 7.5	▲ 7.0	1.1	113	105	97	98
	小計	59,996	61,100	56,242	59,376	63,968	1.8	▲ 8.0	5.6	7.7	102	94	99	107
法非適用	簡易水道	631	562	586	108	77	▲ 10.9	4.3	▲ 81.6	▲ 28.4	89	93	17	12
	下水道	50,140	46,869	47,122	45,515	40,032	▲ 6.5	0.5	▲ 3.4	▲ 12.0	93	94	91	80
	市場	809	802	754	330	92	▲ 0.9	▲ 6.0	▲ 56.3	▲ 72.1	99	93	41	11
	と畜場	87	77	74	72	76	▲ 11.3	▲ 4.1	▲ 2.0	5.5	89	85	83	88
	観光施設	259	229	260	271	302	▲ 11.4	13.4	4.2	11.6	89	100	105	117
	宅地造成	3,948	2,642	8,404	5,759	2,300	▲ 33.1	218.1	▲ 31.5	▲ 60.1	67	213	146	58
	駐車場	142	144	144	142	142	1.4	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.4	101	101	100	100
	介護サービス	52	65	51	50	37	25.7	▲ 21.3	▲ 3.4	▲ 25.8	126	99	96	71
	電気	50	58	57	55	56	15.1	▲ 0.1	▲ 4.1	1.4	115	115	110	112
	小計	56,118	51,448	57,452	52,302	43,113	▲ 8.3	11.7	▲ 9.0	▲ 17.6	92	102	93	77
合計	116,114	112,548	113,694	111,678	107,082	▲ 3.1	1.0	▲ 1.8	▲ 4.1	97	98	96	92	

（注）決算規模の算出方法は次のとおり。

法適用企業：総費用－減価償却費＋資本的支出（建設改良費や企業債償還金等の支出）

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 決算規模の推移

